

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年 1月 17日

1. 職名・氏名 准教授 相馬大祐

2. 学位 学位 博士、専門分野 社会福祉学、授与機関 東洋大学、授与年 2015年

3. 教育活動

|                           |   |
|---------------------------|---|
| <b>(1)講義・演習・実験・実習</b>     |   |
| ① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等     | 障害者福祉論（2単位）2年生  |
| ② 内容・ねらい（自由記述）            | 障害の概念、障害者福祉の歴史的展開、障害児者の現状といった障害児者の基礎的な知識や障害児者の生活に関連する法制度やサービスの仕組み等の知識の獲得。                                     |
| ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） | 法制度やサービスの仕組み等の講義だけでなく、各種の障害特性の理解を目的に学生自らの体験や当事者のゲストスピーカーの招聘を行った。また実践者による講義や映像資料を活用した。<br>【ゲストスピーカー5人】         |
| ① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等     | 就労支援サービス（1単位）3年生  |
| ② 内容・ねらい（自由記述）            | 就労支援のサービスの内容と支援の実際について学ぶ。   |
| ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） | 就労支援のサービスの内容と支援の実際について講義を行った。毎回リアクションペーパーを回答してもらい、毎回の授業の冒頭に記載内容を紹介し、質問等に対応した。また実践者による講義を依頼した。<br>【ゲストスピーカー3人】 |
| ①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等      | ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（1単位）2年生   |
| ②内容・ねらい（自由記述）             | ソーシャルワーク実習の事前学習として、講義、見学実習を行う。  |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）  | 障害者施設での見学実習を担当した。就労継続支援事業所にて初めての受け入れについて、担当者とプログラムの調整を行った。  |
| ①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等      | ソーシャルワーク実習（4単位）3年生  |
| ②内容・ねらい（自由記述）             | 23日間の実習において、専門知識、技術、価値当を実践現場で実際に用いる。  |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）  | 4名の学生を担当した。実習指導者と連携し、各学生の実習プログラムの進捗状況、実習目標・課題の達成状況について確認した。   |
| ①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等      | ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（1単位）3年生   |
| ②内容・ねらい（自由記述）             | ソーシャルワーク実習の事前学習、事後学習を行う。  |

|  |
|--|
| <p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）<br/>4名の学生を担当した。実習前に事前に複数回、事業所での体験実習を行った。事後学習では共通して振り返りを行い、それぞれ個別での対応も行った。</p>  |
| <p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br/>ソーシャルワーク演習Ⅱ（2単位）3年生</p>  |
| <p>②内容・ねらい（自由記述）<br/>氷山モデルを活用したアセスメントをテーマとして、4つの事例の事例検討を行った。</p>   |
| <p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）<br/>導入時にアイスブレイクを実際に行い、研修等での効果を説明した。グループ編成は事例ごとに変更し、自らと異なる視点に気付けるよう工夫した。</p>  |
| <p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br/>ソーシャルワーク演習Ⅲ（1単位）3年生</p>   |
| <p>② 内容・ねらい（自由記述）<br/>SW 実習の振り返りと今後について考えることを目的にゲストスピーカーによる講義、演習を担当した。</p>   |
| <p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）<br/>県内の実践者5名に自身の社会福祉士実習以降について話をしてもらい、キャリア形成のイメージに役立つような授業を行った。</p> <p style="text-align: right;">【ゲストスピーカー5人】</p>                        |
| <p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br/>社会福祉演習（2単位）3年生</p>   |
| <p>② 内容・ねらい（自由記述）<br/>福井県内のユニークな実践を取材に行き、事例集を作成した。</p>   |
| <p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）<br/>福祉県内のユニークな実践について情報収集を行い、実際に2件のフィールドワークを実施した。そのほかの取り組みについては、メール等で情報を収集し、事例集を作成した。</p> <p style="text-align: right;">【フィールドワーク2件】</p> |
| <p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br/>卒業研究（4単位）4年生</p>   |
| <p>②内容・ねらい（自由記述）<br/>文献収集の方法、調査方法、調査のまとめ、論文執筆等について、指導した。</p>   |
| <p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）<br/>9名の学生を担当した。4名の学生のモチベーション維持のため、定期的にそれぞれの進捗状況についての報告及び指導を行った。</p>  |
| <p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br/>SW 特別講義B（1単位）4年生</p>  |
| <p>② 内容・ねらい（自由記述）<br/>地域における社会福祉実践の理解を目的にフィールドワークを中心とした授業を展開した。</p>  |
| <p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）<br/>坂井地区の基幹相談支援センターの協力を得て、協議会に参加し、広報を狙いとした新聞を作成した。</p> <p style="text-align: right;">【フィールドワーク2件】</p>                                   |
| <p>(2)その他の教育活動</p>   |
| <p>内容</p>  |

#### 4. 研究業績

|  |      |
|--|------|
| <b>(1)研究業績の公表</b>  |      |
| ① 著書<br>なし   | 【0本】 |
| ②学術論文（査読あり）<br>なし  | 【0本】 |
| ③その他論文（査読なし）<br>なし   | 【0本】 |
| ④学会発表等<br>* 1. 「相談支援専門員に対する実地教育の効果に関する研究」 日本社会福祉学会第 70 回秋季大会（2022 年 10 月）、鈴木敏彦、大村美保、小澤温  | 【1件】 |
| ⑤その他の公表実績<br>なし  | 【0本】 |
| <b>(2)科研費等の競争的資金獲得実績</b>   |      |
| <b>【学外】</b>  |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学研究費補助金、若手研究、研究代表者、「施設入所に至る障害者への支援に関する研究」2019 年 4 月～2023 年 3 月予定</li> <li>・ 科学研究費補助金、基盤研究 C、分担研究者、「障害者ケアマネジメントのプロセスとアウトカムに基づいた総合的評価法の開発」、2020 年 4 月～2024 年 3 月予定</li> <li>・ 厚生労働科学研究費補助金、分担研究者、「地域で暮らす障害者の地域生活支援の実態把握及び効果的な支援方法、その評価方法についての研究」2020 年 4 月～2022 年 3 月</li> <li>・ 科学研究費補助金、基盤研究 B、分担研究者、「災害時要援護者が参画する包摂型地域防災プログラムの構築に関する基礎的研究」、2021 年 4 月～2025 年 3 月予定</li> <li>・ 科学研究費補助金、基盤研究 C、分担研究者、「障害との関連に着目した児童虐待への対応・支援の実態把握と地域ネットワークの開発」2021 年 4 月～2025 年 3 月予定</li> <li>・ 厚生労働科学研究費補助金、分担研究者「障害分野の研修及び実地教育（OJT）の効果の検証及び効果的な実施のための要因解明のための研究」2021 年 4 月～2023 年 3 月予定</li> <li>・ 厚生労働科学研究費補助金、分担研究者「サービス等利用計画の策定過程における相談支援専門員の思考や判断等の 可視化及びアセスメント項目等の標準化のための研究」2022 年 4 月～2025 年 3 月予定</li> </ul> |      |
| <b>(3)特許等取得</b>  |      |
| 特になし   |      |
| <b>(4)学会活動等</b>  |      |
| 日本社会福祉学会機関誌編集委員会委員   |      |

## 5. 地域・社会貢献活動

### ① 国・地方公共団体等の委員会審議会

#### ①-1 委員就任（国）

- ・ 厚生労働省相談支援従事者指導者養成研修検討会、構成員、2019年～現在に至る

#### ①-2 委員就任（県）

- ・ 福井県障害者施策推進協議会、委員、2016年4月～現在に至る
- ・ 福井県障害者支援施設入所調整会議、委員、2016年4月～現在に至る
- ・ 福井県障害者介護給付費等不服審査会、委員、2016年4月～現在に至る
- ・ 福井県自立支援協議会人材育成部会、委員、2017年3月～現在に至る
- ・ 福井県障がい者差別解消支援地域協議会、委員、2021年4月～現在に至る
- ・ 福井県障がい者福祉計画策定委員会、委員長、2022年4月～現在に至る

#### ①-3 委員就任（市町村）

- ・ 坂井地区障害児・者総合支援協議会、アドバイザー、2016年4月～現在に至る
- ・ 福井市自立支援協議会、アドバイザー、2017年4月～現在に至る
- ・ 坂井市相談支援包括化推進会議、委員、2017年11月～現在に至る
- ・ 永平寺町障害者基本計画等策定委員会、委員、2020年4月～現在に至る
- ・ 坂井市総合福祉計画策定委員会、障害福祉計画部会長、2020年4月～現在に至る

#### ①-4 委員就任（その他公益法人等）

- ・ 日本知的障害者福祉協会人材育成・研修委員、委員、2022年12月～現在に至る

### ⑥公開講座

- ・ 社会福祉の世界をのぞいてみよう、オンライン、2022年7月23日

## 6. 大学運営への参画

### (1)補職

### (2)委員会・チーム活動

- ・ 国家試験支援委員会、委員、2016年～
- ・ 社会福祉学専攻カリキュラム検討委員、2019年～
- ・ 教学 IR 部会、委員、2021年～
- ・ 研究活性化ワーキング委員、2022年～

### (3)学内行事への参加

### (4)その他、自発的活動など